

林邦夫教授定年退職記念会趣意書

謹啓 初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝でご活躍のことと、お慶び申し上げます。

さて、林邦夫先生が、平成二十七年三月三十一日をもって中京大学スポーツ科学部を定年退職されることとなりました。実に、四十七年間に亘って中京大学に奉職されました。

先生は、昭和四十二年三月中京大学体育学部健康教育学科を卒業、同四月より中京大学体育学部助手に採用されました。その後、昭和四十八年四月に講師、昭和五十三年四月に助教授、昭和六十一年四月に教授に就任されました。この間、昭和四十三年中京大学剣道部コーチ、昭和四十四年部助監督、昭和四十九年剣道部監督、平成三年から現在まで剣道部長として、剣道部員一、一〇〇名の指導に携わってこられました。

先生は、競技力向上のための指導には、その科学的な根拠を学生に示し還元することが大学人としての勤めであると言われています。これを具現するために、剣道打突時の筋電図学的研究を中心に上下肢筋群の筋収縮発現様式を考究され、それを発展させるために打突時の竹刀の握りを通じて発揮される各指力配分パターンの研究に従事されました。さらに、二十歳代から八十歳代に至る剣道従事者の体力の特性を運動耐用能、等速性筋力、筋パワー発揮様式などの加齢変化の特徴や全日本剣道選手権優勝者の身体能力の特徴の解明に従事され、数々の功績を残されました。また、東京大学教養学部（福永研究室）に研究員として留学さ

れた平成四年にはトップアスリートの身体能力の測定をもとに競技者に必要な身体トレーニングの方法論を学びました。留学後は研究者として、また、剣道指導者として自身の体験・経験を科学的に実証することを常に考究され、その成果は武道学会誌等に発表されています。そして、これまでの研究成果もとに「年齢とともに強くなる剣道」・「年齢とともに伸びていく剣道」の構築に向けて邁進され、現在も余念がありません。

この間、先生は、平成五年五月に剣道八段を取得され、平成十七年五月には剣道の最高位である剣道範士を拜命されました。また、先生は、全日本剣道連盟等の社会活動にも積極的に参加され、全日本剣道連盟専門委員会が組織した普及委員会、同社会体育指導委員会、同試合・審判委員会、同強化委員会、同将来構想委員会、同指導委員会の委員を歴任され、全日本剣道連盟理事を経て、平成十七年四月から平成二十年まで全日本剣道連盟常任理事に就任されております。さらに欧州、北南米など国際剣道連盟加盟国を巡回され、剣道の普及振興に貢献されました。

このたび、間もなくご退職を迎えられるこの機会に、先生のこれまでのご功績を記念し、併せて感謝の微意を表すため、左記のような退職記念講演会ならびに記念パーティーを計画いたしました。この趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成二十六年十一月吉日

林邦夫教授定年退職記念会 幹事一同

記

◇記念講演

とき 平成二十七年二月十四日（土）午後六時から午後六時四五分

ところ 名鉄トヨタホテル 七階孔雀の間

愛知県豊田市喜多町一丁目一四〇番 電〇五六五・三五六六一

◇記念パーティー

とき 同右 午後七時から午後九時

ところ 名鉄トヨタホテル 七階金扇の間

会費 一万五千元（記念品代を含む）

夫婦ご同伴の場合は、二万円

左記口座に事前振込をお願いします。

振込先 三菱東京UFJ銀行 植田支店（店番 752）

普通口座 口座番号 0206977

口座名義 鷺見勝博

尚、お手数ですが、パーティーご参加の有無につきましては、会場準備の都合上、本年十二月二十日までに同封の返信用ハガキにて、ご連絡いただければ幸いです。

ご欠席の場合には記念品代一口五千円(何口でも結構です)をお振り込みい
ただければ幸いです。

当記念会につきまして、詳しくは、中京大学剣友会ホームページ
(<http://www.chukyo-kenyukai.com>) でもご覧いただけます。

事務局 電話 〇五二一八三五七六九二(警見)

以上。